



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場取引所 名

上場会社名 大成株式会社

コード番号 4649 URL <http://www.taisei-bm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 中島 武久

TEL 052-251-6611

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,964	2.0	67	△74.6	150	△49.7	49	△43.2
24年3月期第3四半期	12,712	△0.8	264	54.3	298	19.5	86	△38.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 112百万円 (288.1%) 24年3月期第3四半期 28百万円 (△66.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	9.81	—
24年3月期第3四半期	17.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,165	7,309	71.9
24年3月期	10,038	7,298	72.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,309百万円 24年3月期 7,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,200	2.2	50	△78.8	110	△65.1	40	△55.1	7.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	5,369,671 株	24年3月期	5,369,671 株
25年3月期3Q	334,001 株	24年3月期	333,960 株
25年3月期3Q	5,035,691 株	24年3月期3Q	5,035,711 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、第2四半期までは東日本大震災の復興需要などから緩やかに回復してまいりましたが、エコカー減税終了による自動車販売の減少や海外景気の減速、日中摩擦などによる輸出の減少を背景に大幅に悪化しました。先行きにつきましては、海外景気が回復に向かうと予想される他、自動車販売の増加、消費税引き上げ前の駆け込み需要により景気は大きく押し上げられる見込みであります。

ビルメンテナンス業界におきましては、第3四半期連結累計期間においても既存物件における空室率の高止まりや平均賃料の下落に対する改善傾向は見られず、ビルオーナーの管理コスト削減意識は依然として強く、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、ビルメンテナンス事業につきましては、減額要請や解約があったものの、大型新規物件の立ち上げなどにより売上高は微増となりました。一方利益面では、そうした新規物件における募集費・教育費などの業務準備コスト負担や解約物件における余剰人員の再配置の遅れなどによるコストが引き続き重く、さらには各業務部にて予定していた随時契約が思うように利益に寄与せず、全体として減益となりました。

リニューアル工事業業につきましては、ビルメンテナンス事業における顧客の他、広く営業活動を行い、引き続き工事受注に努めて参りましたが、結果的に売上は減収となりました。

不動産ソリューション事業につきましては、既存の指定管理事業物件において随時売上の獲得や各種イベントの企画などをおこなって参りました結果、増収となりました。

結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高129億64百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益67百万円（同74.6%減）、経常利益1億50百万円（同49.7%減）、四半期純利益49百万円（同43.2%減）となりました。前年同四半期と比較して、売上高は増収、利益面において減益となりました。

ビルメンテナンス事業

（クリーン業務）

クリーン業務につきましては、一部大型施設他の解約物件もありましたが、名古屋観光ホテル、帝京大学医学部附属病院、ホテルアソシア新横浜、明治安田生命新東陽町ビルなどの新規物件の獲得及び既存ホテルの高稼働などの前年対比増収要因が寄与し、売上高は66億98百万円（同4.3%増）となりました。しかし新規物件の立上費用や解約による余剰人員の再配置の遅れによる労務費が影響し、営業利益は8億2百万円（同13.4%減）となりました。

（設備管理業務）

設備管理業務につきましては、ベストウェスタンホテル名古屋、中野坂上サンブライトツインなどの新規案件獲得しましたが、昨年受注したようなLED交換工事といった随時工事を受注することができず、売上高は28億1百万円（同1.0%増）、営業利益は66百万円（同44.2%減）となりました。

（セキュリティ業務）

セキュリティ業務につきましては、セントラルパーク駐車場管理、中野坂上サンブライトツインなどの新規物件他、既存物件においても随時売上を獲得したことにより、売上高は20億43百万円（同1.9%増）となりました。一方、人件費の増大により営業利益は1億52百万円（同1.5%減）となりました。

従いまして、ビルメンテナンス部門の売上高は115億44百万円（同3.1%増）となりましたが、労務費などの原価増により営業利益は10億20百万円（同14.9%減）となりました。

リニューアル工事業業

リニューアル工事業業につきましては、積極的に顧客ビルからの工事受注に努めたものの、顧客の修繕計画の先送りなどによる受注件数の減少などにより、売上高は9億16百万円（同9.0%減）となり、営業利益は54百万円（同13.7%減）となりました。

不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業につきましては、各施設において自主事業の企画などの集客活動をおこなって参りました結果、売上高は5億3百万円（同0.2%増）となりました。また利益面においては、当社が所有するビルのサブリース化などによる有効活用が収益に寄与し、営業利益は31百万円（同164.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産101億65百万円（前連結会計年度末比1億27百万円増）、負債の部は28億56百万円（同1億15百万円増）となり、純資産の部は、73億9百万円（同11百万円増）となりました。

資産の部の増加要因は、主には受取手形及び売掛金が3億14百万円、建物及び構築物（純額）が1億83百万円、及び投資有価証券が2億25百万円増加したことによるものであります。

また負債の部の増加要因は、主には支払手形及び買掛金が1億44百万円、短期借入金が1億80百万円増加したことによるものであります。

そして純資産の部の主な増加要因は、その他有価証券評価差額金が62百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月13日公表の業績予想修正数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ4,129千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,547,414	1,573,800
受取手形及び売掛金	1,589,793	1,904,683
有価証券	25,620	84,950
商品及び製品	7,611	6,645
原材料及び貯蔵品	51,114	56,574
未収還付法人税等	—	51,647
繰延税金資産	109,873	65,091
その他	34,110	28,483
貸倒引当金	△800	△888
流動資産合計	3,364,736	3,770,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,981,943	2,098,776
減価償却累計額	△1,334,801	△1,268,383
建物及び構築物（純額）	647,141	830,392
機械装置及び運搬具	470,746	472,791
減価償却累計額	△380,676	△401,448
機械装置及び運搬具（純額）	90,069	71,342
工具、器具及び備品	290,505	318,062
減価償却累計額	△229,899	△248,501
工具、器具及び備品（純額）	60,605	69,560
土地	1,172,981	1,172,981
リース資産	10,843	10,843
減価償却累計額	△8,675	△10,301
リース資産（純額）	2,168	542
建設仮勘定	40,975	—
有形固定資産合計	2,013,941	2,144,818
無形固定資産		
投資その他の資産	39,102	37,863
投資有価証券	1,834,880	2,060,712
差入保証金	273,706	278,227
退職積立資産	936,840	976,259
保険積立資産	448,955	317,291
ゴルフ会員権	146,449	143,249
繰延税金資産	259,574	217,471
長期預金	650,000	150,000
その他	99,173	95,822
貸倒引当金	△28,440	△26,740
投資その他の資産合計	4,621,140	4,212,295
固定資産合計	6,674,184	6,394,977
資産合計	10,038,920	10,165,964

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	421,893	566,590
短期借入金	60,000	240,000
1年内返済予定の長期借入金	109,920	59,970
リース債務	2,168	542
未払費用	198,705	229,550
未払給与	761,643	778,969
未払法人税等	97,296	—
未払消費税等	90,345	89,300
賞与引当金	221,865	61,985
その他	147,790	245,594
流動負債合計	2,111,629	2,272,501
固定負債		
長期借入金	89,990	57,500
預り保証金	33,806	29,763
退職給付引当金	292,765	290,009
役員退職慰労引当金	212,400	206,549
固定負債合計	628,962	583,822
負債合計	2,740,592	2,856,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,300	822,300
資本剰余金	878,137	878,137
利益剰余金	5,952,860	5,901,523
自己株式	△314,483	△314,505
株主資本合計	7,338,813	7,287,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40,485	22,185
その他の包括利益累計額合計	△40,485	22,185
純資産合計	7,298,328	7,309,640
負債純資産合計	10,038,920	10,165,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	12,712,759	12,964,366
売上原価	11,014,171	11,407,223
売上総利益	1,698,587	1,557,142
販売費及び一般管理費		
役員報酬	116,253	120,555
給料	560,168	566,952
賞与引当金繰入額	85,318	85,099
役員退職慰労引当金繰入額	13,451	13,840
賃借料	147,541	144,878
減価償却費	47,307	60,185
その他	463,718	498,379
販売費及び一般管理費合計	1,433,760	1,489,891
営業利益	264,827	67,251
営業外収益		
受取利息	13,145	9,333
受取配当金	21,983	23,729
受取手数料	18,286	26,762
受取保険金及び配当金	3,339	2,271
保険返戻金	3,874	14,131
有価証券運用益	—	9,870
持分法による投資利益	7,100	5,467
その他	1,758	2,011
営業外収益合計	69,488	93,577
営業外費用		
支払利息	5,142	2,987
有価証券運用損	21,272	—
支払手数料	7,404	6,965
雑損失	1,651	600
営業外費用合計	35,470	10,553
経常利益	298,844	150,275
特別利益		
固定資産売却益	3,770	13
投資有価証券売却益	1,184	—
特別利益合計	4,955	13

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
特別損失		
固定資産除売却損	17	19,467
投資有価証券売却損	132	—
投資有価証券償還損	—	17,844
投資有価証券評価損	67,173	—
ゴルフ会員権評価損	2,633	500
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	550	—
その他	3,863	—
特別損失合計	74,368	37,811
税金等調整前四半期純利益	229,430	112,477
法人税、住民税及び事業税	37,291	10,459
法人税等調整額	105,253	52,640
法人税等合計	142,545	63,100
少数株主損益調整前四半期純利益	86,885	49,377
四半期純利益	86,885	49,377

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	86,885	49,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,018	62,670
その他の包括利益合計	△58,018	62,670
四半期包括利益	28,867	112,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,867	112,047

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業 務	不動産ソリ ューション 業務		
売上高							
外部顧客への売上高	6,422,244	2,775,461	2,005,137	1,007,652	502,262	—	12,712,759
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,422,244	2,775,461	2,005,137	1,007,652	502,262	—	12,712,759
セグメント利益	926,328	118,307	154,671	63,257	11,903	△1,009,640	264,827

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,009,640千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューア ル工事業 務	不動産ソリ ューション 業務		
売上高							
外部顧客への売上高	6,698,666	2,801,788	2,043,907	916,894	503,109	—	12,964,366
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,698,666	2,801,788	2,043,907	916,894	503,109	—	12,964,366
セグメント利益	802,454	66,020	152,418	54,566	31,524	△1,039,732	67,251

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,039,732千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。